

■通常事業評価シート【R6年度実施事業／総務部 IT推進課 による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	IT推進課管理事務 事業	持続可能で信頼される行政 になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行す るため、庶務全般を効率的に行 う。	IT推進課の庶務事務を適切に実施し た。	5：達成した	継続	195	10,170	10,365	継続して効率的に庶務事務を行う。	適切な事務執行に努める。	
2	ネットワークシステ ム運用事業（複数課 からの予算再配当事務） （他課への一部 予算再配当事務）	持続可能で信頼される行政 になっている	事務の効率化及び情報の共有化並 びに情報資産の高度利用を推進す るため、ネットワークシステムを 適正に運用する。	外部部署をつなぐダークファイバー網 の更改や第五次L GWANへの切替、 ガバメントクラウドへの新規接続を 行った。	5：達成した	継続	89,092	15,254	104,346	現庁舎の設備が老朽化しているが、 新庁舎を見据えた改修と保全のバラ ンス。	現行ネットワークの延命を図る。	
3	基幹系システム運用 事業（複数課からの 予算再配当事務）	持続可能で信頼される行政 になっている	基幹系システムの効率化を図るた め、各種基幹業務システムを適正 に管理運用する。	法改正対応を含めた基幹系システム の管理運用及びシステムの標準化に 向けて環境構築を進めた。また、 社会保険・税番号制度に例規及び システム面で適切に対応した。	5：達成した	継続	294,235	32,103	326,338	システムの標準化における全国的 なシステム開発事業者の人的リソ ース不足により遅延が発生しない よう計画的に取り組みを続ける必 要がある。	全国の動向を注視しつつタスク 管理を着実に進める。	
4	行政DX推進事業	持続可能で信頼される行政 になっている	将来にわたって持続可能な行政 サービスを提供するため、行政DX （デジタル・トランスフォーメー ション）を推進する。	外部専門人材の支援を活用しつつ、 行政DX推進委員会内に作業部会を 設置して重点的に推進するべき 施策を体制を整えて取り組んだ。	5：達成した	継続	17,000	27,603	44,603	管理職及び職員の意識醸成が不可 欠。意識醸成ができていないた め、変革しようとする組織風土が 定着できていない。	引き続き外部専門人材の支援を 活用しつつ、DX人材育成の充実 を図る。	
5	情報セキュリティポ リシー事業	持続可能で信頼される行政 になっている	情報セキュリティに対する脅威に 対応するため、情報セキュリティ マネジメントサイクルを確立す る。	国のガイドライン改定に併せて 市セキュリティポリシーの改定準備 を行った。	5：達成した	継続	-	4,358	4,358	国のガイドラインの改定頻度が高 まっているため、それに追従す ることへの作業量の増大。	改定を簡便に行えるような手 段を検討する。	
6	情報セキュリティ強 化対策事業	持続可能で信頼される行政 になっている	情報セキュリティ対策の強化のた め、庁内ネットワークの再構築を 行う。	現行システムの運用を行うととも に、次年度のシステム更改に向け その準備を行った。	5：達成した	継続	42,904	7,990	50,894	日々現れる新たなセキュリティ脅 威に対し人的、設備的に対応す べくアップデートすること	ハード面の整備を行うとともに 人的な対策を行っていく。	